



来賓の吉澤氏



元場会長

魅力ある新取り組みを

静岡県代協が通常総会開く

静岡県代協(元場光男会長)は5月22日、静岡市の男女共同参画センターで平成27年度通常総会を開いた。

総会に先立ち、元場会長と来賓参加した損保協会中部支部の吉澤篤史事務局長が挨拶。元場会長は挨拶で保険業法の改正とそれに伴う代協の役割についてふれ、「保険業法改正を控えて、代理店は大変な時期を迎えている。これらの状況を代理店が乗り越え、生き残る

ために、代協としてもいろいろと支援していきたい。対外的に示せるような取り組みを代協が考えていかなければ、代協の魅力につながらないとも思っている」と述べた。次いで、元場会長同様に保険業法の改正について言及した吉澤氏は「今後の保険募集において代理店の役割と責任がますます大きくなる。ぜひ保険会社とも連携を図りながら、お客様が保険に安心して加入できるように

努力を怠らなきたい」と述べた。また、損保協会と日本代協が共同で取り組んでいる損害保険大学課程についてもふれ、「損保協会でも損害保険トータルプランナーの認知度アップに取り組んでいくので、代協会員の皆さんも全国200万人の募集人のリーダーとして業界を牽引してもらいたい」と述べるなど、資格取得者の増加とそれによる代理店の品質向上を期待した。総会では平成26年度事業報告や27年度事業計画

などを審議。今年度の主な取り組みとして「会員の期待に応えられるような新しい取り組みを考えている」とするなど、代協会員に有用な施策を講じることとした。一例として「代協会員で損害保険大学課程資格者が販売できる自動車保険の創設準備を保険会社とともに進めている」ことを明らかにした。

総会終了後は講演会が開かれ、日本銀行静岡支店長の服部守親氏が「静岡県経済の現状と課題」をテーマに講演した。

20年度に会員100名体制

神奈川代協県西支部が総会

神奈川代協県西支部(横田裕支部長)は5月21日、平塚市のグランドホテル神奈中で2015年度支部総会を開き、昨年度の事業報告や今年度事業計画などを審議した。



横田支部長



講師の上野氏

今年度の事業計画では、事業コンセプトとしては、再度確認し、会員代理店に取り組みを呼びかけるとともに、総会当日に実現参加した保険各社の社員に向けても会員増強の協力を求めた。

総会では横田支部長と、来賓を代表してあいさつした。総会終了後はセミナーが開かれ、一般社団法人保険健全化推進機構「結心会」の上野直昭会長が「地域保険代理店の取るべき戦略とは」をテーマに講演した。

「経営戦略セミナー」「社会貢献」「保険会社との交流」「会員交流、会員増強」の4つを明示。会員増強面では、現在45名の会員数を2020年度までに100名体制にするといった支部目標を再度確認し、会員代理店に取り組みを呼びかけるとともに、総会当日に実現参加した保険各社の社員に向けても会員増強の協力を求めた。

総会終了後はセミナーが開かれ、一般社団法人保険健全化推進機構「結心会」の上野直昭会長が「地域保険代理店の取るべき戦略とは」をテーマに講演した。